

科目名	疾病治療論Ⅱ (血液造血・呼吸・循環機能障害)					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 疾病の成り立ち	時間数	19時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	対象の状態を適切に観察するためには、人間の身体機能が障害された時の病態と症状のつながりや診断と治療を理解し、予測も含めた看護の視点が必要である。看護実践に生かすために血液造血・呼吸・循環機能障害時の病態・症状・診断・治療について学ぶ。						
到達 目標	1. 人間の身体の血液造血・呼吸・循環機能に障害が起きた場合の病態と症状のつながりを理解することができる。 2. 血液造血・呼吸・循環機能障害の代表的な疾患の診断や治療法を理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～5	血液・造血器疾患	貧血（鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血）、白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、形質細胞腫・多発性骨髄腫、凝固系の異常				講義	外部講師
	呼吸器疾患	呼吸器疾患 肺炎・肺結核、肺気腫・慢性気管支炎、気管支喘息、肺・胸膜の腫瘍（肺がん・悪性中皮腫）				講義	外部講師
6～9	循環器疾患	循環器疾患 心臓の疾患（心奇形・心肥大・心筋症・狭心症・心筋梗塞・心臓弁膜症・心膜炎・心不全）、血管の疾患（動脈硬化症・動脈瘤・大動脈解離）				講義	外部講師
10	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学3 疾病のなりたち 医学書院 新看護学9 成人看護 [1] 成人看護総論 呼吸器 循環器 消化器 新看護学10 成人看護 [2] 血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経・運動器 [特論] リハビリテーション看護 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							